※教育・保育給付認定の2号または3号は、本来、教育・保育施設を利用するにあたり、保育の必要性や保育の必要量を判定するために認定します。国の給付制度である「施設等利用給付」による「満3歳児クラスに在籍する児童」または「一時預かり事業（幼稚園型Ⅱ）を利用する0～2歳児」に係る預かり保育料・保育料に対する給付は、非課税世帯にのみ行われています。当市では、課税世帯の「満3歳児クラスに在籍する児童」または「一時預かり事業（幼稚園型Ⅱ）を利用する0～2歳児」に係る預かり保育料・保育料に対する給付も実施しています。その給付は、保育の必要性を備えている世帯にのみ行うことから、教育・保育給付認定を受けることで給付対象者として管理する運用を取っております。